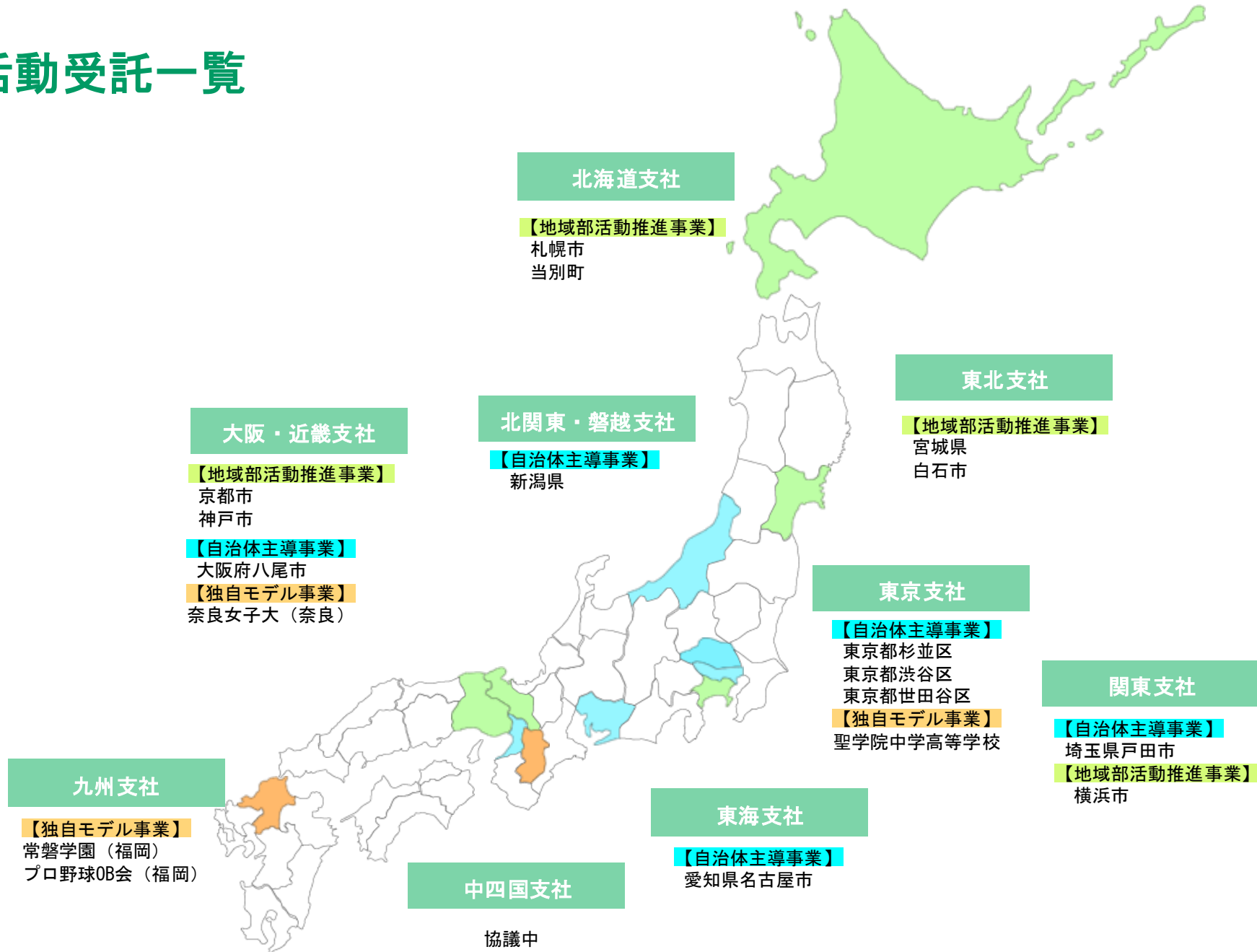


地域運動部活動推進事業の現状

部活動受託一覽



◆ 部活動一覧(抜粋)

■ 地域部活動

事業種類	事業主体	内容
地域運動部活動	札幌市	地域公募にて研修・配置・運営構築
地域運動部活動	当別町	地域公募にて研修・配置・運営構築
地域運動部活動	宮城県(県立中学・白石町)	地域公募にて研修・配置・運営構築(1名兼業兼務)
地域運動部活動	横浜市	地域公募にて研修・配置・運営構築
地域運動部活動	京都市	教員兼業兼務モデル研修・配置・運営構築
地域運動部活動	神戸市	地域公募にて研修・配置・運営構築

■ 自治体主導事業

事業種類	事業主体	内容
中学校部活動委託	杉並区	部活動指導者配置
部活動モデル事業	渋谷区	部活動顧問業務・管理業務
部活動マッチング事業	世田谷区	部活動指導者募集・マッチング業務
部活動委託事業	戸田市	部活動指導者配置事業(社員配置)
部活動指導員委託事業	新潟県	部活動指導者配置事業(社員配置)
小学校部活動委託事業	名古屋市	部活動(運動・文化部)262校配置・管理運営業務(人材バンク運営も含む)
部活動委託事業	八尾市	部活動指導者配置事業(社員配置)

■ 独自モデル事業

事業種類	事業主体	内容
教員働き方改革	聖学院中学高等学校(東京)	部活動指導者配置受益者負担モデルの構築
専門指導者配置	常磐学園(福岡)	部活動指導者として弊社社員を出向し、顧問・監督業務実施
部活動指導者配置	奈良女子大(奈良)	部活動指導者配置
専門指導者配置	プロ野球OB会(福岡)	元プロ選手を部活動に招聘

部活動推進事業

【部活動アンケート実施エリア】

北海道札幌市
北海道当別町
宮城県白石市
京都府京都市
兵庫県神戸市
神奈川県横浜市

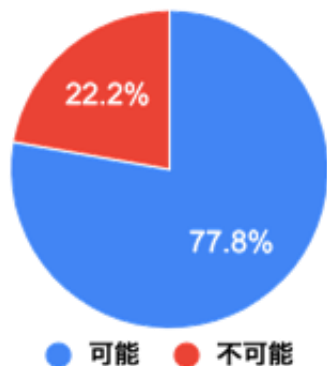
【対象部活動】

サッカー
野球
バスケットボール
ソフトテニス
陸上
卓球
バドミントン



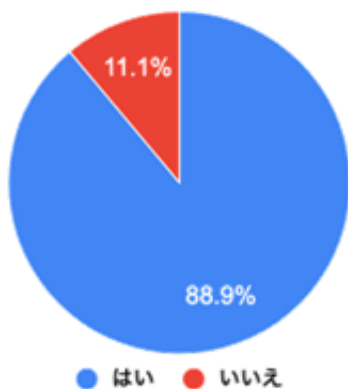
地域運動部活動推進事業の現状

1.部活動数に応じた各種目の指導員の確保は？



- ・部活数が増えた場合の充足には、懸念はある。
- ・政令指定都市などはスポーツ団体との繋がりや大学などの学校機関との連携があれば指導員の確保は問題ないと感じているが、逆に地方都市は上記のような展開は難しさもあるが、教員の副業も加えて実働できれば可能と考えている。
- ・求人媒体での反応率が高く、2週間程度で一定数の応募があった。
- ・地域の体育協会や総合型地域スポーツクラブ等の協力により人材が確保できた。
- ・定期的に、安定的に確保するというのが難しい種目があると考えられる。リーフラスの場合は一定数専門種目の社員数を抱えている為対応出来る種目が多いが、リーフラスに無い種目に関しては確保が非常に難しい。
- ・希望する教職員を雇用する事が出来れば状況は改善するとも考えられる。
- ・中学生の種目特性という観点からも専属雇用者が週3回程度指導に当たるという環境をつくる事が出来れば、受益者・現部活を担当している先生方からの理解も進んでいき、より良い地域部活動にしていけるかと思えます。

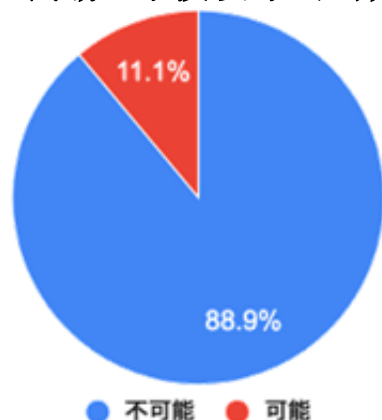
2.保護者から緊急連絡や欠席連絡はスムーズに行えているか？



- ・現場の指導員との連携を密にとることで、緊急連絡や欠席連絡は滞りなく行えており、保護者との情報共有をスムーズにできている。
- ・まだ回数は少ないですが、問題はない状況。
- ・システムの構築は必要。
- ・平日に顧問に伝えている場合もあるが、その際は顧問から統括責任者に共有がある。
- ・規模間によっては連絡ツールとしてシステムの導入が必要。
- ・随時情報共有できている。
- ・メールで行う事が出来ている状態ではあるが、連絡が無い方はやはり一定数いる。コミュニケーションを保護者様と取れるという点がリーフラスの強みではあるが、学校数が増えてくるとこの取り組みも難しいものとなる為、システムの導入が必要と考えている。

地域運動部活動推進事業の現状

3. 会場が学校以外に定期的に全ての部活動が確保は？



- ・現状は学校の施設(グラウンドや体育館)を使用して部活動を行っている。
- ・調整できているため、問題ない。
- ・会場によるが、抽選が必要な会場であれば休日に確実に確保できる保証はないため
- ・定期的に学校施設以外で活動していくのは難しい。学校施設ありきになっている。
- ・定期的な確保が難しい部活が存在している。

4. 中学校の施設を利用しているか？



メリット

- ・通常の練習と同じ環境となるので、保護者送迎が必要となるケースが少ない。
- ・安全面となれた場所のため安心感がある。
- ・抽選予約等が必要なく、確実に利用できる
- ・普段利用している施設のため、生徒、保護者も安心して通わせることができる。
- ・備品の充実、広さの充実、通い面の安心(普段行きなれているため)
- ・各学校のルールに準じて使用しているため、デメリットなどは無し。
- ・移動なく安全に活動できる。
- ・バレーボール、卓球、バスケットボール等設備が必要な種目となります。これらの種目は他の会場では設備が無くなる可能性がある為、課題になると考えております。

デメリット

- ・学校の鍵の管理が必要となる。
- ・他の部活との調整が必要。
- ・北海道は冬季屋外の部活動もすべて室内に入ってきます。そのため、会場確保の調整が難しい。



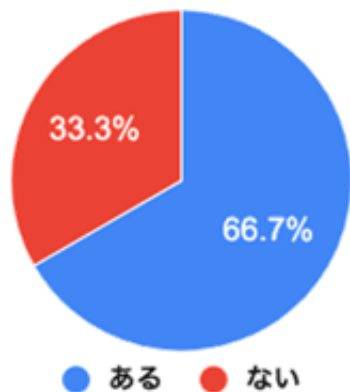
地域運動部活動推進事業の現状

5. 受益者負担時に保護者が部活動に対して金銭負担理解は？



- ・ 地域部活動としての在り方と質を高める事で、受益者負担としての運営も可能と考えるが、現状ではそこまでのイメージを持っていない保護者が多いと予想される。
- ・ 現状教職員や市の職員も難しいと考えているため。
- ・ 連絡会などで、意見をいただいている。
- ・ 負担額にもよるが、今まで無償だった分、全員から理解を得るには苦勞すると考える。部活動から切り離して、民間のクラブチームとして考えれば可能。
- ・ 部活動以外のクラブチームなどへ通っている子が多い。その傾向から魅力があれば金銭的な負担があっても通うことは予想でき、お金を払う価値のある活動、ニーズにあった形になれば可能かと思います。
- ・ 理解は得られると思っているが、経済的な問題がある家庭は、各自治体の補助が必要である。
- ・ 現時点では分からないが、低所得世帯へのサポートがあれば可能。
ただし、一律性がない場合(一部の学校、一部の部活のみ等)は、理解し兼ねる保護者が多数出る可能性がある。

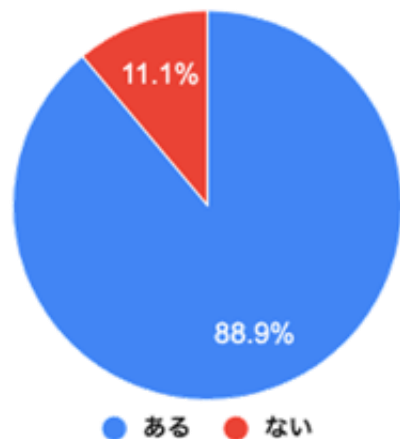
6. 財政困難の教育委員会は実際にあるか？



- ・ 各自治体を訪問した際に、予算の捻出に苦慮している自治体が多い印象。(特に地方の市町村)
- ・ 部活のためだけに金銭を使用していくことへの懸念は感じている。
- ・ 財政についての話をしておりませんので不明です。
- ・ 状況は決算書や予算書でのみの把握ですが、金銭的に厳しいとよくお話をしております。
- ・ 皆さん一様に厳しいと言われるが、各自治体の方針により様々である。
- ・ 具体的にはわからないが、うちはお金がないからというお言葉は数回出た。
- ・ 各自治体の担当者の話では予算捻出が非常に難しいとのこと。とはいえ、捻出は不可能ではないため、結局は各自治体の教育長の意向次第であると感じる。
- ・ 財政が困難かどうかに関しては、詳細まで把握出来ていないが小規模の町に関しては部活にあてる予算確保が難しい所が多いと聞いている。
- ・ 国からの支援が無くなった場合に地方自治体で予算化していくのは非常に厳しい返答がありました。

地域運動部活動推進事業の現状

7.教育委員会、各学校の地域移行への理解はあるか？



- 事業の進捗を適宜共有する中で、教育委員会や学校としては、地域移行に対する前向きな姿勢を常を感じる事ができている。
- 前向きに様々な課題に対して共に考えてくれている。
- 教職員の働き方改革の必要性を実感していると感じたため。
- 現在の活動を評価いただき、拡大の意向を示しているため。
- 教育委員会、保護者、教員も含めて満足度は高いと感じている。実際に現場に入って肌で感じている。
- 現在受託している拠点とする2校の理解はあるが、それ以外はリスクや今後の動向を気にする声が多く、現時点で難色を示す自治体が多い。
- 教育委員会や学校に関しては働き方改革が全てと感じます。また、教職員の中には経験や知識のない指導者も多数おりますので、その点で子どもたちに良しという観点からも地域移行への賛同の声は頂きます。ただ、中にはそういう考えではない方もいらっしゃいます。
- 部活は教育の一環であり、先生が身を粉にして学び伝える事に意義がある。というお話も実際に聞きました。この考え方は一定数出るといふ所も踏まえ大きな意味で地域への移行を理解してもらふ事が大切と考えます。

8.中体連などの参加規程をどうなっていますか？

- 教員でなければ引率不可(地域部活動指導員は引率できない)
- 参加していない。
- 公式戦等の参加に対しての懸念はある。
- 改善は必要。
- 学校単位。
- 地域部活動に対応できておりません。
- 教員が同行している。リーフラスのみでの引率は無し。
- 教員でないと引率できない。
- 現状未定。今後見直される意向。



地域運動部活動推進事業の現状

9. 保護者・地域の理解はあるか？



- ・ 事前の保護者説明会を通して理解を求めることで、大きな混乱もなく保護者の理解を得ることにつながった。
- ・ 同意書はいただいている状況だが、実施時期が短いため本心はまだ未定。
- ・ 続けて欲しい要望もある。
- ・ 顧問の先生方の忙しさを保護者も理解しているため。
- ・ 部活によっては、顧問が参加しておらず、地域移行した方が生徒にとって有意義な部活動になるため。
- ・ 保護者へのヒアリングや子どもたちへのアンケート(学校で実施)の結果による。
- ・ 世論の状況も踏まえて、地域部活動への移行は理解を得ている。保護者説明会での説明も重要と感じている。しかし今回はモデル事業として期間も短いため、今後も継続していくことで理解は深まると考えている。
- ・ 賛否あるのも事実だが、現状は特に問題なく進行しているため。
- ・ 現在のアンケート結果を見ると理解を得ていると感じております。現状リーフラス指導者が現場にいる環境となっておりますので、これらが無い仕組みに今後は作り替えていく、要するにリーフラス指導者のレベルを現場に落とし込むという事が出来れば理解は広がると考えております。

10. 生徒からの満足の声はあるか？



- ・ 平日の練習とは違った内容を通して、練習の幅の広がりを感じ意欲的に取り組んでいる様子が伺える。
- ・ 今までと違うメニューや雰囲気を楽しいと声をいただいているため。
- ・ 指導者へメニューを求める事や、継続を願う声が多くある為。
- ・ 指導者とも仲良く、楽しく練習に取り組んでくれている。
- ・ 上達やモチベーションの向上にも繋がっていると感じる。
- ・ 本格的で技術向上に繋がっている。
- ・ 平日より真面目に取り組む生徒が増えたと聞いている。
- ・ 専門的な技術指導を展開できることは生徒からも満足の声が上がっている。
- ・ 継続してほしいという声が多い。



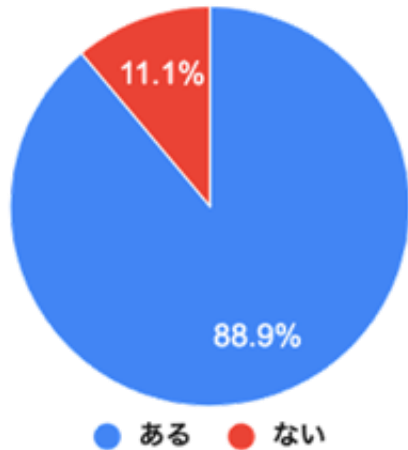
地域運動部活動推進事業の現状

11.教職員からの満足はあるか？



- ・ 休日の休みを確保できることで、労務環境の改善につながっている。
- ・ 教員の休日確保や子供たちが専門指導を受けられると感謝の声が副校長、校長を通して報告をいただくため。実際の市の職員へも同様の声が入っているとのこと。
- ・ 業務負担、平日へのメニューの提供など、様々な面で助かっているとお聞きしている為。
- ・ 連絡会で満足している声をいただいた。
- ・ 生徒への声掛け含めて外部の指導者からの学びもある
- ・ 教員としての勉強時間の確保もできている。
- ・ 専門アドバイス、平日の練習メニューの提案などもあり助かっている。
- ・ 分かりやすい指導で生徒の反応が良い。
- ・ 協議会での各学校の発表の中で顧問のヒアリング結果で大変満足頂いていると全学校よりいただきました。
- ・ 指導経験のない教員が担当する部活に入っているため、感謝の声しかない状況。
- ・ 確実に労務環境が変わっている。

12.地域運動部活動推進事業を進めていく上で困っていることは？



- ・ 今後、規模を拡大させて地域移行していく中で、予算の捻出、受益者負担の形等、具体的なビジョンが明確に持っていない。
- ・ 人材確保に苦しんでいる状況。現状は問題ない規模だが、拡大していくためには人材が必要。
- ・ 指導する部活動が増えた際の指導者確保に不安を感じている。
- ・ 複数年での契約を結べると、指導者も腰を据えて指導にあたることができ、生徒にとっても望ましい部活動になっていくと考える。
- ・ 大会参加の仕組みが地域部活動にマッチングしていない。学校部活動と地域部活動の引継ぎ。
- ・ 短年契約だと指導者が腰を据えられない。
- ・ 委託料が少ない
- ・ 平日部活動(顧問)との連携と保護者の理解。
- ・ 中体連の大会規定、校数が増えた場合の要求水準を下げてもらう必要がある。
校数が増えた場合の指導者の確保等、システム的に一括して実行できる名古屋の人材バンクを各自治体と連携して作る事が出来ればと考えている。

◆ まとめ

個人情報

個人情報の取り扱いなどが多く出てくるのでシステム導入の声もある。また、人材確保については、地域差はあるものの、適正人材の確保ができていない地域とそうでない地域もあるが、拡大した際には人材確保の難を示している。これは、休日という限定的な部分なのか、地域への理解が広まっていないのか不明である。

場所(会場)

現状、弊社が活動している中学校では、学校施設を使用している。地域に移行した場合に、地域では、スポーツ施設は限りがあり休日は、利用者も多く占有が非常に困難なために、地域移行になった場合は活動場所の確保は大きな課題となると考えられる。受益者負担になれば保護者または生徒からの信用信頼を失墜する可能性がある。しかし、学校施設を使用する際も課題がない訳でもない。ヒアリングにもある通り、施設の鍵の受け渡しや校門の鍵の課題はあるが、一様に、教職員からは「労働環境の改善に繋がっている」「教員としての勉強時間の確保もできている」など労働課題がある一定の改善が見られている。

事業費

地域部活動は「国からの支援がなくなった場合は地方では厳しい」という意見がある。他の事業から見ると大きな財政支出ではないように思える。実際に、教育委員会において担当をしている方々は、指導主事の方が多い。行政職の担当のところは予算を捻出している。そのことを考えると、指導主事が予算獲得の知識が薄いのではないかと考えている。通年の割り当てのある教育委員会への予算では当然できないのが実情で、その他の予算を別で取得するという考えに至っていないのではないかと考えている。

まとめ

地域運動部活動推進事業については、弊社のヒアリングをおこなった結果、様々な意見が出た。総じて、運営については、各教育委員会や各中学校、保護者や地域等と、うまく連携が取れており良い関係性のもと生徒にも良い方向で進んでいると結果言える。弊社がおこなっている地域では、統括責任者を配置し、教育委員会、中学校、保護者、地域と五位一体となって生徒のスポーツ環境にプラスになっていることは結果である。弊社の経験と実績が大きく関係していると言える。